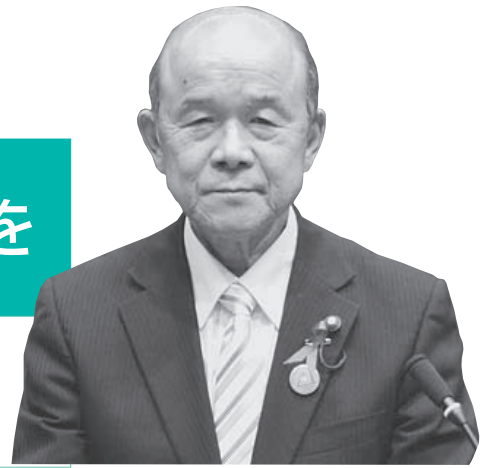


質問

奥出雲町農業ビジョン策定を



糸原 壽之 議員

町長

農業ビジョンを策定する

農業ビジョン策定の3本柱



園芸
地域最速出荷を目指す取組



畜産
日本一を目指している



水稻
仁多米のブランドを堅持すべく

質問 現在から未来のある時点まで、どんな発展を遂げていきたいかと言う構想や未来像、またはそれを文章にしたものをビジョンと言う。本町の農業ビジョンを策定されたい。

町長 農業については昨年、水稲、園芸、畜産を柱としたビジョンの策定に向け、検討を指示した。これについては、農業の指針とも言われている食料・農業・農村基本法が四半世紀

ぶりに改正されることから、その見直しをふまえて策定したい。持続可能な農業を進めて行くためには、担い手の問題が重要である。地域計画策定に向けた各集落の

話し合いや、これからの地域を支えていく若手農業者の意見を

基に、将来のあり方であるビジョンを策定する。

兼業農家育成で地域後継者を

質問 農業所得を向上させて、一種二種兼業農家を育て、奥出雲スタイルの地域の後継者育成を図りたい。

農業者から、現状や課題、今後の方向性などを聴く、意見交換会の場を設けた。今後も続けていく考えである。

町長 農業の所得向上を通じた担い手育成とその実現に向けた農業の目指すべき方向性の検討は重要である。

地域計画の策定後は、担い手に条件の良い農地を計画的に集積するなど、人口減少に適応しながら、農地の最適な利用を図り、農業の所得向上が見込める営農環境を目指していく。

本町では現在、10年後に目指すべき農地利用の姿を明確化する地域計画について、令和6年度での策定に向け各地区、集落で検討している。また先頃、農業を専業としている若い

一方、兼業農家の方の所得向上を併せて考え、地域の年代構成バランスを見て進めて行くことも必要であると考えている。